

# がけっぷち

## 一般会計予算

### 総括質疑

#### 問 槻木地区の道路整備が必要

- 百々喜明議員 (1) 前年の合併破綻で町の役割には大きいものがあると思われる。町に力量をつけ、3町の信頼回復に努めていくと言っているがどのようにしていくのか。
- (2) コンパクトな独自のまちづくりとはどんなものか。
- (3) スポーツ都市宣言後6年になるが、「総合型地域スポーツクラブ」への支援はどうなのか。
- (4) 町長は住民主体の住民自治と言っているが、政治的にはどんなものなのか。
- (5) 職員の意識改革と、係から班編成にして、職員との和は。
- (6) 槻木地区の道路整備も欠かせないのでは。

#### 答 幹線道路は重要と認識

- 滝口町長 (1) 県が指導する新たな合併協議の場が信頼回復に役立つことを期待します。
- (2) クラスター型の都市構造が新たな都市像と考えます。
- (3) 「柴田町総合型地域スポーツクラブ設置調査研究会」の報告書が出てから考えます。
- (4) 住民自治の強化が求められています。議会は
- これまで以上に民意との関係を深めなければならぬと言われています。
- (5) 16年から人材育成を目的とした、人事評価制度を取り入れています。班制度導入後も職員の協力体制を密にします。
- (6) 地域の特色ある資源を生かしたまちづくりを進めます。幹線道路は重要と認識しています。

#### 問 財政危機脱出を最優先政策に

- 小丸 淳議員 (1) 4年間の町政をふりかえり、政策目標に対する自己評価は。
- (2) 合併破綻による財政非常事態は当然予測または予知すべきを。いかに認識していたのか。
- (3) 財政危機を打開するため、事ここに至っては歳出を一つ一つ精査し、ゼロベース予算から見直すべきではないか。
- (4) 財政難の折、ごみの減量化について、さらに強力な施策、要すれば回収の有料化も検討すべき時期にきていると思うが。
- (5) コミュニティの構築には分館の役割が大きかった。分館廃止後のフォローアップ(事後追跡)をやっているのか。
- (6) 学力低下は学習の絶対時間の不足ではないか。2学期制も視野に検討を。

#### 答 行財政改革プランで財政健全化に努力

- 滝口町長 (1) 住民が主役の自治体づくり、住民と行政との協働の2つの政策だが、進展はすれども道半ばと思っております。
- (2) 合併しない場合の財政シミュレーションから歳出超過、赤字を予想し、厳しい財政運営を余儀なくされるものと予測。
- (3) 思い切った事務事業の見直しの必要性もあり、ゼロベースの予算の見直しを検討します。
- (4) 仙南地域広域行政事務組合で、ごみ有料化検討委員会を設置し、ごみ減量化に向けた検討を行っています。
- (5) 地域課題を取り上げ、行政区組織機能の向上支援に努めます。
- (6) 家庭学習の習慣化が基礎学力の定着に重要。

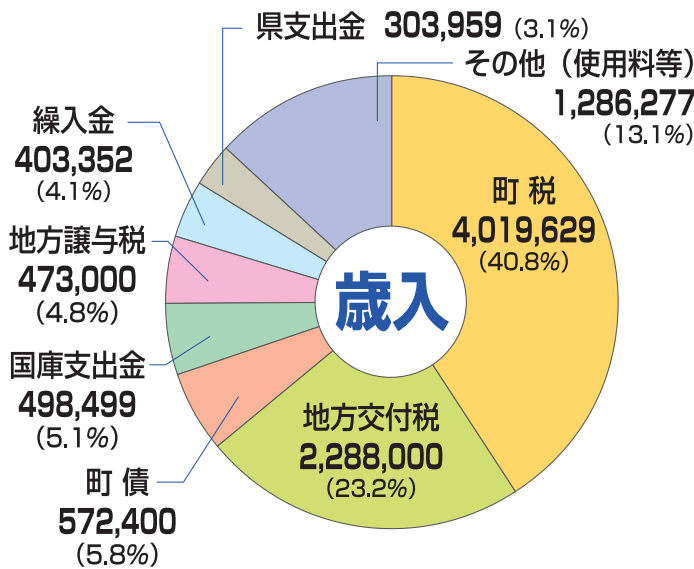
# の財政運営

## 98億円を可決

前年度対比  
マイナス5.7%

### 平成18年度一般会計予算

(単位：千円)

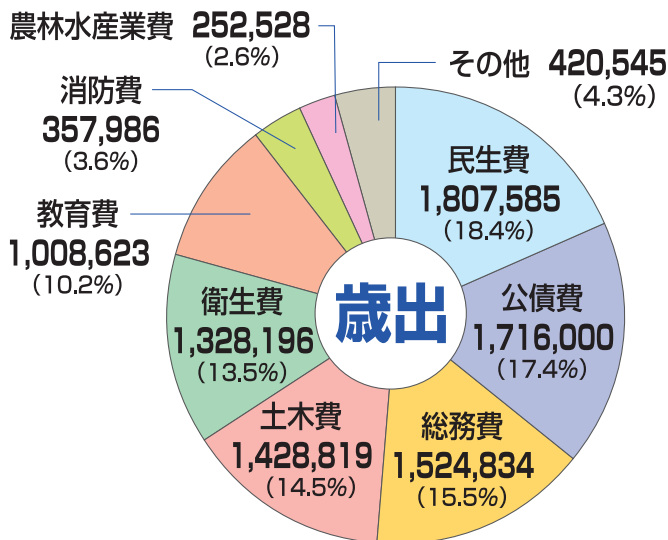


平成18年第1回定例会が3月10日から27日まで18日間の会期で開かれました。  
18年度予算(一般・特別会計等)を予算審査特別委員会において慎重に審議し、本会議において原案のとおり可決しました。  
また、四役及び職員の給与削減の特例条例は修正案を可決しました。課設置条例(財政再建対策)は否決しました。  
このほか条例や補正予算など29議案を審議し、原案のとおり可決しました。  
町税収入の伸び悩み、地方交付税の減額、介護保険特別会計への繰り出しなどにより、財政は予断を許さない状況で、さらなる行財政改革が望まれます。

### 平成18年度一般・特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	予算額	対前年比	
一般会計	9,845,116	△5.7%	
特別会計	国民健康保険	2,956,764	3.2%
	老人保健	2,783,068	△5.8%
	公共下水道	1,673,143	10.1%
	介護保険	1,666,581	13.1%



### 平成18年度水道事業会計予算

(単位：千円)

区分	収入額	対前年比	支出額	対前年比
収益的収入及び支出	1,249,985	△1.6%	1,364,946	7.3%
資本的収入及び支出	71,101	△35.9%	296,405	△25.5%